

桜区の歴史・沿革

桜区はさいたま市南西部に位置し、大久保地区と土合地区の一部からなっています。

大久保地区の由来は、明治二十二年、上大久保村、下大久保村、五関村、植田谷領領家村、植田谷領在家村、塚本村、宿村、神田村、白鍬村の九か村が合併して大久保村をつくったもので、新村名は上大久保村と下大久保村が九か村の中で大きな村なので、「上」「下」の文字を取って「大久保」としたということです。

また土合地区の由来は、やはり明治二十二年、南元宿村、田島村、鹿手袋村、西堀村、関村、与野領町谷村、新開村、栄和村、道場村、中島村、山久保村の十一か村が合併し、十と一か村が合わさったことから村名を「土合村」とつけたこととです。

その後、この二村は昭和三十年一月に浦和市に合併。平成十三年五月には浦和市・大宮市・与野市が合併し、さいたま市になりました。平成十五年四月、さいたま市は政令指定都市となり、大久保地区と土合地区を基盤とした「桜区」が誕生しました。

桜区地名の由来

地名には、人の名前にそれをつけた親の愛情や子どもに託した希望が込められているように、あるいはその時代を反映しているように、そこに生活した人々やそれととりまく自然の豊かな情感が息づき、時代の移り変わりが示されています。



大久保領家

おおくぼりょうけ
地名は、荘園領主(領家)に由来するようです。当時の浦和市に合併するまでは「領家」でしたが、市内(現浦和区)に同じ「領家」という地名が存在したため、「大久保領家」となりました。

上・下大久保

かみ・しもおおくぼ
大久保というのは、昔は「大窪」と書き、大宮台地と武蔵野台地の間の広い窪地にあったようです。江戸時代に大窪村が分村して、上大久保村と下大久保村が誕生しました。

五関

ごせき
五関には、かつて川端、稲荷、水入、川面、千貫の5つの堰があり、五関の名はこれに由来するといわれています。なお、伝統野菜の「五関菜」は、この地名にちなんで付けられています。

在家

ざいけ
中世の頃は、荘園内の屋敷とそれに付属する田畑のことを一般的に「ざいけ」と呼んでいたことによるようです。

宿

しゆく
道場村に畠山重忠の館があった頃、この地にもぎわい、家が軒を連ねて宿場のようなであったことによるといわれています。

白鍬

しらくわ
古くは「白桑」とも書いたようで、養蚕のため多くの桑が植栽されていたことに由来するといわれています。また、地名に白という文字が入っていることから、新羅系の渡来人によって開発されたのではないかという説もあります。

神田

じんて
当地が、古くは伊勢神宮又は氷川神社等の領地(神領)であったことに由来するといわれています。あるいは、鴨川の湿地帯(ジンデ)に由来するという説もあります。

塚本

つかもと
古墳(塚)が多数存在したことに由来するといわれ、現在も塚山古墳と神明寺古墳が残されています。

栄和

さかわ
明治10年(1877)、当時の千駄村と西蓮寺村が合併し、栄和村が誕生しました。「和して栄える」と未来の繁栄を念じての命名といわれています。

桜田

さくらだ
昭和60年(1985)8月の住居表示の実施により、西堀の一部が桜田となりました。近くに桜や田んぼが多かったことからこの名前になったとのこと。

新開

しびらき
安土桃山時代、天正18年(1590)の岩槻城落城後、その旗本の土が浪人してここに土着し、新たに一村を開いたことによるようです。

田島

たしま
水田地の中に島状の畑が点在していたことに由来する地名といわれています。

道場

どうじょう
鎌倉時代、畠山重忠が土中から観音像を得て道場(寺院)を建てたのが村名の起りといわれています。この時建てられた道場は、現在の金剛寺という話もあります。

中島

なかじま
周辺は沼地で、この辺りが島状の地形であったことによるといわれています。なお、中島にある「本壺」という地名(字名)の「もく」は、盛り上がった土地などを意味し、そこに「壺」の字を当てたとされています。

西堀

にしぼり
西堀には高沼用水があり、この用水を指しての地名であるといわれています。また平安時代、このあたりは堀津郷といわれていて、西堀にその名残があるという人もいます。

町谷

まちや
道場村に畠山重忠の館があった頃、このあたりに町屋(商家のあるところ)があったことに由来するようです。

南元宿

みなみもとじゆく
荒川が氾濫し、川止めになったときに宿場となったことに由来するようです。明治時代、北足立郡内に2つの本宿村があり、南にあった本宿村なので南本宿村に改称したそうです(北にあった本宿村は現在の北本市)。

山久保

やまくぼ
山久保の地形は、古来より桜区内では最も高い台地であり、通路が八方に広がった窪地もあったらしく、この名がついたと考えられます。